ミーティングリポート

4月のスポーツネットミーティングは、スポーツネットミーティングサロンの説明と、普段からスポーツネットミーティング関わって頂いている方々からのリアルな声を、新型コロナウイルス感染拡大予防から、Facebookでライブ配信させて頂きました。

＜スポーツネットミーティングサロン＞　※2021年2月の SNM で紹介。

医療関係者、トレーナー、指導者に限らず、生理学、心理学、教育学など様々な専門の方々にオンラインでの講演をして頂きます。または Bright Body からの定期コンテンツの配信をすることを考えています。定期コンテンツとしては、Bright Body のスタッフから普段行っているトレーニングを一つ一つテーマを設けて配信していきます。

また、定例のミーティングも開催し、サロン会員同士での交流の場を作り、サロン会員の方々からのお悩みに相談して回答する質疑応答の時間も設けます。また、様々なプロジェクトに対して賛同いただける方々で同志を募り共同で出資するなどサロンでプロジェクトを進めていくことも考えています。一人では難しい事も、日本全国、また世界を繋いでトレーナーのネットワークをどんどん広げたいと思っています。このスポーツネットミーティングも形を変えて様々な方々と繋がって、そして意見交換が出来る事で情報を得られ、ますます選手の為に、皆さんの知識向上の為に考えていきます。詳しいご案内は後日させて頂きます。

＜スポーツネットミーティングに参加して頂いている方からの声＞

スポーツネットミーティングに参加して頂いている方、また協力して頂いている方からのリアルな声を紹介します。

○田中　伸明氏（京都嵯峨相撲スポーツ少年団）

相撲の宇良関とスポーツネットミーティングでお会いした平野選手（オリックスバファローズ）が、いかに小中学生の時に身体を酷使しないように、無理をさせないようにする事が大事と言われました。同じようにスポーツネットミーティングでお会いした医療関係の先生から教えて頂いたのが、怪我をした時の診察には必ず指導者も一緒に来てほしいということです。怪我の要因は様々ありますが、その1つに指導方法が悪いから怪我をしたということも考えられるので、指導者、保護者が学ぶ事で無理をさせる指導者、保護者もいなくなると思います。様々な事を学ばせて頂きながら、指導者も良い形で医療関係の方と関わることができるので、感謝の思いしかないです。医療関係者からの発信、指導者からの発信が広がっていけば、もっとより良いスポーツ環境になるのではないかと私は思っております。

○島田　芳生氏（洛星中学校野球部元監督）

スポーツネットミーティングに参加させていただいて、医療関係者の方やトレーナーの方とお知り合いになれ、自分たちが預かっている生徒たちをどこにお願いすれば良いかという情報を得ることができ、近所でも繋がりができており非常に助かっています。故障した選手はどこの病院に行けば良いかが分かりにくい現状です。地域で拠点になるようなスポーツに特化した整形外科が増えれば良いし、部位別にお勧めするところなど情報を回していくことで、今悩んでいる人達やこれからの競技者にとってプラスになるのではないかという気がします。

○岩田　圭生氏（いわた整形外科クリニック）

指導者の方には、最低限の医療知識を持って頂きたいと思います。そうすることで、受診した選手に伝えたことが正しく伝わり、正しく理解して頂けるようになります。指導者の求めることを病院が全て対応できるわけではないので、指導者と連携を取った時に正しく理解してもらえることは大事と思います。選手には優先順位のつけ方を意識して欲しいです。チームの方針やスポーツ特性にもよるが、状況を理解し優先順位をつける力が必要になります。そこには、選手への教育が必要になるので、チーム内でのメディカルの位置づけを確立していくことが良いと思います。

今後もスポーツネットミーティングサロンという形で様々な先生方にお話しをして頂いたり、交流の場を持ったりしていくということで、様々なイベントを企画していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜

次　回　の　開　催　予　定

2021年5月10日（月）　19時～　（※形式、内容は後日 Facebook にてご案内致します）